

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

( 最終 )

和庄中学校区 校番15 学校名 呉市立長迫小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種データをよく分析された児童の実態のもと、中学校区の実態と連携させながら知・徳・体をバランスよく設定されている。</li> <li>・方策の効果を的確に見取る指標の数値化が行われ、具体的である。</li> <li>・働き方改革で児童と向き合う時間の確保に取り組んでいる点が非常に評価できる。</li> <li>・学校教育目標「夢をもち」にかかる具体的な項目があるとよい。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呉市の児童に必要な方策がしっかり考慮され、それが本校の児童の実態にアレンジされた方策になっている。</li> <li>・特にICTの活用が方策として経年で位置付き、成果が上がっている。</li> <li>・他教科との連携を図る総合的な学習の時間の授業実践、具体的な目標設定など実践の手立てが明確に示されていて、教職員や児童が取り組みやすい。</li> <li>・授業観察からも「自分の意見を言う」ということに力を入れていることが分かる。どの授業でも児童がしっかりと発表していることに驚いた。</li> <li>・再チャレンジの機会の確保で児童のモチベーションが高まっている。</li> </ul>
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの項目も数値に基づいて自己評価の結果が適切に分析されている。特に「学力の向上」に関してICTの活用を通して思考力、判断力を育成する授業につなげ効果を上げている。</li> <li>・「会釈で挨拶」「ぴたっと止まって挨拶」を場によって使い分けることが難しい児童もいるので、成長の過程で会釈や立ち止まっていた挨拶が心からできる児童を育成してほしい。</li> <li>・今後も児童の思いを聴きながら改善を進めてほしい。また、教職員の体感をもっと加味してもよい。</li> <li>・メディアコントロールなどについて、家庭との連携を今後も模索し、粘り強く進めてほしい。また、走力アップについて「走ることが楽しい」と思う取組を今後も望む。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果の分析を生かし、来年度につながる改善案が細かく具体的に示されている。今後も継続していけばよい。</li> <li>・「健やかな体」に関する指標は達成が難しいが、今後も粘り強く取り組んでほしい。</li> <li>・頑張りやが評価される場面を多く準備している。今後も継続してほしい。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが五類となり、久しぶりの学校行事への参加を通して児童の成長に頼もしさを感じている。</li> <li>・教職員が児童一人一人によく関わり、児童は礼儀正しく、のびのびと育っている。</li> <li>・学習規律の定着や教職員と児童との信頼関係があり、落ち着いて取り組んでいる。授業観察から、指標の数値では見えない部分の成長も感じる。</li> <li>・教職員が児童の興味関心や意欲を引き出す様々な仕掛けを準備している。</li> <li>・先日の地域との防災教室では、地域と児童とが災害に対し協働するよい機会になった。今後も地域の一人として、児童への「声かけ」を大切にしたい。</li> <li>・親としてできることをこれまで以上に頑張ろうと思う。</li> <li>・今後も長迫小学校に誇りをもつ児童が育つことを祈念する。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も、呉市の教育構想の下、児童の実態をよく分析して評価計画を立て、チーム長迫として取組を徹底する。</li> <li>・「健やかな体」に関する項目については、来年度も家庭と連携して取り組む方策を追求していく。</li> <li>・次年度も学校通信や学級通信、保健だよりやホームページ等を通して、学校の取組を発信していく。</li> </ul>
--------------------	---